

本資料及び資料に含まれる第三者著作物を再使用する場合、
利用者は、それぞれの著作権者より使用許諾を得なくてはなりません。

Homework 09

ことばを科学する：人間の再発見（主題別科目：思索と言語）

2013年度2学期

奥 聰

(A)

添付の文書、ベイカー『言語のレシピ 多様性にひそむ普遍性をもとめて』（岩波書店：pp.67-108）「3. サンプルとレシピ」の中の pp.67-75 を読んで、テキストで述べられていることと異なるものを以下から 2つ選びなさい。

- a. {2, 4, 6, 8, ...}は偶数の集合の外延的特徴づけである
- b. ある言語の I 言語とは、その言語を理解・生産するための頭の中の能力のことである
- c. E 言語のアトムは単語と考えられ、I 言語のアトムは形態素と考えられる
- d. I 英語と I ナヴァホ語は大きく異なって見えるが、E 英語と E ナヴァホ語はよしもよく似ている
- e. クラッカーとパンは、異なる食べ物だが、レシピの点からみれば、ある要素ひとつ加えられているかどうかの違いだけである

(B)

添付の文書、ベイカー『言語のレシピ 多様性にひそむ普遍性をもとめて』（岩波書店：pp.67-108）「3. サンプルとレシピ」の中の pp.75-105 を読んで、テキストで述べられていることと異なるものを以下から 2つ選びなさい。

- a. 世界の言語を見ると、日本語風の語順を持つ言語と英語風の語順を持つ言語はほぼ半々である
- b. 言語の語順は、その言語が話されている文化と伝統によってそれぞれ異なる独特の形に決まっている
- c. 英語では、the boy about という単語列は文中に現れることはない
- d. 文は大きな句の中に小さな句が含まれるという階層構造をなしている
- e. すでに出来上がっている句に付けられ、より大きな句を作る要素を主要部とよぶ
- f. 小範疇に属する単語（形態素）は、それぞれの言語でその数に限りがある
- g. 日本語と同じ語順を持ち、かつ定冠詞も持っているラコタ語では、the bed という時に、bed the という語順になる
- h. 主語は、主要部方向性パラメータの適用外にある

(C)

添付の文書、ベイカー『言語のレシピ 多様性にひそむ普遍性をもとめて』（岩波書店：pp.67-108）「3. サンプルとレシピ」を読んだ感想を自由に書きなさい。